

法事(ほうじ)

ってなあに？

「法事」とは何でしょう？改めて聞かれるとわからない方は多いのではないのでしょうか？

「法事」は、正式には『縁年供養(えんねんくよう)』と言います。親しい方が亡くなると、五年に一度その方と縁が近くなる時が来ます。それが『縁年』です。

この時に、親しい近しい人たちが集まって、手を合わせお経を手向ける機会を持つと、その方が大変喜び、ますます私たちを守ってくれる、という機会です。

五年に一度と言うと分かりやすいですが、仏教では「三」と「七」という数を大切にしますので、十年のうち「三」と「七」がつくときが、

「縁年」になります。「三回忌」「七回忌」

「十三回忌」・・・など

と言うのは、このような理由があるからです。ちなみに「三十三回忌」が個人として最後の縁年供養になり、それ以降はご先祖様と一緒に祈られることとなります。

五十年ほど前に、「塔婆のみの供養」というのがありました。これは当時の住職が不在がちで「縁年供養」を勤められなかった為だそうです。縁深い方々が「そうだ、お経を手向けよう！」と機会を作ることが「縁年供養」法事」です。大切なあの人のために、「縁年」にはぜひ、少人数でも菩提寺に集まる機会を持ちましょう。



お盆について お知らせ

八月十三日～十五日はお盆です。ぜひ家族そろってご先祖様をお迎えしましょう。同十六日は、施餓鬼大法要の日です。今年も境内テントでの塔婆受け渡しになります。感染症対策のためご理解ご協力お願いいたします。

詳細は別紙をご参照下さい。

◎初盆をお迎えの方

個別にご案内をお送りします。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

◎納骨堂をご利用の方

ご遺骨をお預かりする「納骨堂」使用の方は、規定の使用料を、十六日の受付で、又はお振込みにてお納めください。

秋彼岸について お知らせ

九月は秋のお彼岸です。彼岸は昼と夜の時間が丁度半分になるときに行われる仏教行事です。身を引き締め、自身を見つめかえす良い機会と言われています。お本尊様やご先祖様をお参りし、決意新たに前に進みたいものです。

今年九月十一日(日)

に**秋彼岸法要**を行います。

今回初彼岸を迎える方には、詳細を別途郵送にてご案内いたします。

清掃料廃止のお知らせ

(再掲)

お寺による境内墓所清掃代行は諸事情によりなくなりません。ご理解ご了承のほどお願いいたします。